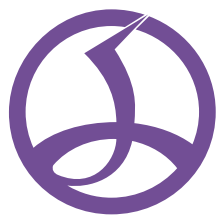


ちよだ 区議会 だより



No. **237**

平成30年4月26日

編集: 区議会だより編集委員会

発行: 千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1

☎ 5211-4297(直通)

ファクシミリ 3288-5920

第1回 定例区議会



ワテラスの桜 (神田淡路町2丁目)

トップニュース

Top News

平成30年度予算、千代田区住宅宿泊事業の実施に関する条例(民泊条例)等を可決!

■平成30年度千代田区一般会計予算

総額は619億6,459万1,000円で、前年度当初予算に比べ13.5%、73億6,545万2,000円の増額となりました。

■千代田区住宅宿泊事業の実施に関する条例

住宅宿泊事業法が公布されたことに伴い、住宅宿泊事業(民泊)を行うことができる区域、期間等を定めるとともに、宿泊者の安全・安心の確保と周辺住民の安全で快適な生活環境の維持を図るため、新たに条例を制定するものです。平成30年6月15日から施行します。

■千代田区議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

政務活動費の使途基準について見直しを行ったほか、一部の文言を修正するため規定を整備するものです。主な改正内容は、使途基準中「人件費」の「使途禁止事項」である「日常的な事務員」を削除したこと。また、「会議費」のうち「会費」について「1人5,000円以内」を「飲食費を除く会場費及び資料費その他事務費として1人3,000円以内」へ改正するものです。平成30年4月1日から施行します。

主な内容

- 代表質問 2～3面
- 一般質問 4～5面
- 定例区議会活動報告等 6～8面
- 本会議で可決した意見書等 9～11面
- 議案の審議結果等 12面

提案された議案等

◆区長提出議案等

- ・予算 5件
- ・条例等 19件
- ・人事、契約 10件
- ・報告 1件

◆議員提出議案

- ・条例 3件
- ・意見書 2件



●ホームページアドレス

<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。
また、CD版、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局 ☎5211-4297(直通)までご連絡ください。



区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますのでぜひご利用ください。

平成30年第1回定例区議会

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元バーコードから録画映像にアクセスできます。

自由民主党議員団



嶋崎 秀彦

平成30年度予算の編成について

問 ①予算の特徴は②29年度予算に対する附帯決議が、30年度予算にどの様に反映されたか③財政運営の方針は。

答 ①待機児童対策や高齢者・障害者支援。東京2020大会に向けた施策の推進等②10項目中9項目を計上③国の税制改正が、区の財政状況を悪化させている。効率的、効果的財政運営で財源確保と質の高い行政サービスに努める。

海外との姉妹提携について

問 海外都市との交流は、異文化交流の活発化が期待でき、多文化共生社会の構築に寄与する。23区で未提携区は港区と千代田区のみ。区の見解は。

答 東京2020大会を踏まえ、提携について検討する時期。積極的に取り組む。

神田地域のまちづくりについて

問 ①神田地域でビルを経営し、そこで暮らす人々が、単独で機能更新し住み続けることが困難になっているのでは。見解は②神田地域各所で再開発の動きがある。各開発の神田地域全体における位置づけは。

答 ①個別建て替え、共同化、街区再編の開発諸制度等、多様な施策の総合的取り組みが重要②各開発が担う役割を踏まえ、面的な課題解決に取り組むことが重要と認識。



自由民主党 新しい千代田



林 則行

幼稚園における一時預かり事業

問 園庭のない保育園に通う子どもも、園庭のある幼稚園で預かれる事業をより推進するため、補助金の増額を。

答 区内私立園からの希望により当該事業が実施でき、区からの補助も行えるが、実施を希望する幼稚園がない。

区長の政治団体への説明責任

問 区長は教育委員の自宅を政治団体「石川雅己君を励ます会」の主たる事務所にし「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」服務規程上に係わるものと認識した後、解散手続きをした。政治団体代表者の元東京都副知事を「その人のことはよくわからない」と議会答弁したが、収支報告書や解散届の提出は連絡を取っていたのか。

答 政治団体代表者の元副知事は私の元上司でそれなりに知っている。連絡の上、確認し収支報告を提出。解散手続きは事務を担当する方をお願いし提出。

標準事業規模と区立小学校校庭面積

問 都区財政調整制度における標準事業規模で区立小学校校庭面積等を適正規模に再検証し標準的広さに近づけるべき。

答 都の想定する23区標準は人口35万人を基準としている。当区の施策目標とすべきではない。

標準事業規模と校庭面積			
施設	標準事業規模	校庭面積	
麹町小学校	4000	1764	44.10%
九段小学校		1240	31.00%
番町小学校		2608	65.20%
富士見小学校		1914	47.85%
お茶の水小学校		1914	47.85%
千代田小学校		1232	30.80%
昌平小学校		1788	44.70%
和泉小学校		1207	30.18%
区立小学校の校庭面積と標準事業規模			

日本共産党区議団



木村 正明

くらしと福祉問題について

問 ①生活保護基準の引き下げ撤回を国に求めるべき②基準見直しで影響を受ける事業と対策は。

答 ①激変緩和措置を講じ、一定の配慮がされていると認識②就学援助や各種保険料の減免等45事業に関係。影響を精査し適切に対応していく。

街路樹を生かしたまちづくり

問 ①将来の街路樹の維持管理等を総合的に示す「街路樹ガイドライン」を専門家、市民参加のうえ作成を②樹木専門の技術職を採用すべき。

答 ①街路樹のあり方の重要性に鑑み、適正な維持管理を含め、沿道住民と十分協議し、道路整備方針を策定する②慎重に検討する。

区営四番町アパートの建て替え問題

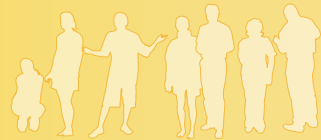
問 ①耐震基準を満たしている区営四番町アパートを建て替える理由は②四番町保育園の仮園舎敷地を日テレから無償貸与された経緯は。

答 ①敷地の有効活用、バリアフリー、セキュリティ機能等の充実のため建て替えを決定②6カ所ほどの候補地の中で、条件が合致したのが日テレ所有の土地で、貸与期間を平成35年3月までとし、平成27年9月に内諾を得た。



平成30年第1回定例区議会

代表質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元バーコードから録画映像にアクセスできます。

千代田を紡ぐ会・民進



寺沢 文子

未来に向けた予算・まちづくり

問 ①国の税制改正に伴う、今後の財政運営と未来の展望は②区の未来に重要なまちのあり方について、専門家による区民向け学習会開催と、周知が必要。

答 ①効率的・効果的運営を行うとともに、不合理な税制法改正には断固反対の意を表明し、地域資源を十分活用し千代田区らしい施策を進めていく②区の外郭団体からアドバイザーを派遣してもらい、自ら学習会を行っている地域もある。周知は、団体と連携して検討する。

障がい者(児)等の支援

問 ①孤立しがちな方々が増える当区では、多様な人が集える場は重要。障がいの有無や年齢を問わず集える場づくり支援策を②発達障がい児を担任する教師は対応に悩んでいる。対応するための研修を全教職員に行うべき。

答 ①多様な方々の受け入れ基準全てを満たさねばならず、区の現状では難しい。今後の制度改正で実施可能性を探る②外部専門家の講習会や巡回アドバイザーによる指導・助言を実施中。

新自殺総合対策大綱

問 区の自殺者数は年平均で11人強。大綱の趣旨を踏まえ、区内自殺者の特徴を捉えた総合的対策計画が必要。

答 各関係機関連携の(仮称)自殺対策検討会議を設置し、対策を検討する。



公明党議員団



大串 ひろやす

スポーツマンシップ教育の推進

問 スポーツマンシップとは、煎じ詰めれば尊重することRespectであり、ルール、プレイヤー、審判を尊重することである。共生社会の理念やオリンピックズムに通ずるものだ。そこで、東京2020大会開催を好機としてスポーツマンシップを学び広く普及・啓発しては。

答 区のスポーツ振興基本計画には、スポーツを通じてルールの順守、相手に対する敬意、良き仲間との出会い等をうたっている。まさにスポーツマンシップそのものである。この考え方をもとに、スポーツ講習会等さまざまな機会を通じ、スポーツマンシップの考え方の理解、普及・啓発を行っていく。またこのことがオリンピックレガシーにもつながっていく。

国保保険料の引き下げを！

問 国保は社会保障としての国民皆保険制度を下支えしている。この役割を果たすため区市町村は一般会計からの法定外繰入を行ってきた。平成30年度からの国保制度改正では、法定外繰入の計画的解消が示されている。そうしなければ保険料の上昇は避けられない。国の財政的支援が先決であり、当分の間、法定外繰入は継続すべき。所見は。

答 区民生活への影響を極力小さくするため、法定外繰入は29年度と同水準で行い、独自の保険料を設定し約9割の方々の保険料を下げることにした。



平成30年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元バーコードから録画映像にアクセスできます。

小林 たかや (自民)



不便益という発想について

問 介護施設であえて階段を設ける等、不便により「できる力」を失わせないとする発想の「不便益」を区の施設や計画に導入しては。

答 高齢者の介護予防、児童の体力向上等に「不便益」の発想が必要な場合がある。

防災船着場の一般開放は

問 震災時の代替交通手段として船が有効。一般開放し操船経験者を増やすべき。和泉橋船着場の限定開放を。

答 船着場は構造上、一般開放は困難。また、一般的な免許所有者であれば、利用に不都合がない。今後とも水上輸送については関係機関と連携し研究していく。

池田 ともり (自民)



2年後に向けたトイレ対策

問 東京2020大会に向け、①区の公衆トイレは清掃方法やデザイン等の改善が必要。今後の整備スケジュールと構想は②トイレマップ作成状況は③バリアフリーマップ多言語化の状況は。

答 ①2カ年で32カ所を改修。区にふさわしいデザインとなるよう取り組む②一般開放の民間トイレを含む施設案内を作成。観光協会のHPとも連携していく③一部地域の英語版を作成。他のエリアも今後対応予定。



内田 直之 (自民)



コミュニティバスの提案

問 風ぐるまは福祉バスとコミュニティバスとして運行しているが限界である。二つの機能を明確に分離し、千代田区の地域交通政策の全庁的検討が必要である。

答 引き続き福祉目的の交通手段としたい。地域交通政策は全庁的に検討していく。

スポーツボランティアの育成

問 ロンドン五輪の大会ボランティアは、地域ニーズと担い手のマッチングにより現在も活躍中。これを参考に区も人材育成を。

答 スポーツ指導者を確保する現行制度の周知改善に努め、今後の制度・他自治体の活動も研究する。

大坂 隆洋 (自民)



中小企業支援施策について

問 ①中小企業の設備投資を支援する法案が国会に提出される。区はどう対応できるか②千代田ビジネス大賞の成果と今後の支援は。

答 ①情報収集に努め、事前準備を進める②PRや交流の場となる他、表彰企業の信用度向上に寄与。今後、さらに知名度を向上させる。

受動喫煙対策について

問 ①16の児童遊園等の喫煙禁止地区指定後の体制は②指定外の公園への対応は。

答 ①指導員を増員し、喫煙所への案内員を配置。連携した指導等を行う②公募意見や指導員の報告を踏まえ、禁煙指定を行う。

米田 かずや (公明)



本区の自殺対策について

問 ①現在までの対策は②自殺対策計画の策定状況は。

答 ①自殺を防ぐ人材を養成する講座や心の相談室等を実施。学校では子どもの様子に注意し、必要に応じて夏季休業中等にも連絡を取る他、家庭訪問等を実施②来年度、関係機関と連携した「(仮称)自殺対策検討会議」を設置し、策定する。

SNSを活用した取り組み

問 他自治体では、自殺対策としてLINEを利用した相談体制等が検討・試行されている。本区でも検討を。

答 先進自治体や民間団体を参考に、区の特性にあった形を検討していく。

小枝 すみ子 (声)



街路樹維持管理と道路財源

問 街路樹維持管理予算は全国的に減少傾向であるが、区の道路財源は増加している。街路樹維持管理のあり方を含め、理想の区道とは。

答 財源は増える中、剪定等の清掃等維持管理も適切に実施中。今後も人優先の道づくりを目指し整備する。

民泊について

問 規制の緩い神田地区は、管理者不在の民泊が認められ、犯罪発生危険がある。規制を強化すべき。他地域同様、一律規制できないか。

答 国のガイドラインで一律規制は不適切とされている。合理的範囲で制限を検討し、条例案を作成した。

永田 壮一 (自民)



明治150年について

問 先人の偉業を伝えるため区の歴史遺産を活用した教育、イベントの実施を。

答 近代国家の成り立ちを理解できるよう指導。特別展、関連講座を実施予定。

健康寿命と歩行について

問 健康寿命延伸のために、専門家による正しい歩き方知識の指導を。

答 区民に広く取り組めるウォーキング中心の事業を検討中。正しい歩き方の普及に努める。



桜井 ただし (自民)



障害者福祉施策について

問 ①平成29年第1回定例会で「障害者施設の増設を求める決議」が全会一致で可決された。新年度における障害者の入所施設整備に関する検討内容は②精神障がい者のための就労支援継続事業やグループホーム設置の実現見通しは。

答 ①施設整備に向けた基礎調査の結果、区内に入所サービスの提供可能な拠点施設の必要性が明確となる。平成30年度から施設の規模や機能について具体的な検討を開始②就労継続支援事業所やグループホームの開設計画事業者を経費を支援し、30年度上半期開設を目指し、取り組む。

平成30年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元バーコードから録画映像にアクセスできます。

たかざわ 秀行 (千代田)



総合的なまちづくりとは

問 低・高層地域や緑地等のバランスをとり、様々な人が集うことが理想。

答 区の考えは決して一律開発でなく、各地域で何が重要かに応え支援すること。

有料トイレの増設は可能か

問 東京2020大会開催に向け、係員常駐型有料トイレの増設を検討すべき。

答 立地確保等の課題があるが、有料化に向けた新たな維持管理方を研究する。



有料トイレ「オアシス@ akiba」

岩田 かずひと (民進)



色覚検査と子どもへの配慮

問 ①検査はプライバシーに十分配慮すべき②授業では色覚多様性に関し、どのような配慮を行っているか。

答 ①希望制により、個室で個別実施、結果通知は内容が分からないよう全員に封書で通知②板書は白、黄色のチョークを主体とし下線や囲み等の色以外の情報を加える等で対応している。

千代田体操について

問 「千代田体操」作成経緯と普及等の今後の方針は。

答 介護予防の普及のために考案。認知度が低いのが実情。身近な場で自主的に介護予防に取り組む際に活用されるよう普及に努める。

牛尾 耕二郎 (共産)



待機児童の解消に全力を

問 ①誰もが希望する保育所に行けるようにすることを目標とすべき②多くの保護者が区立保育園を望んでいる。なぜ増設しないのか。

答 ①最終的には希望通りになるようにしたいが、まずは国基準の待機児童ゼロが最優先の課題②計画では私立認可保育所の整備が中心。区立・私立のどちらも望まれるよう取り組む。

高校進学への支援の強化を

問 就学援助を受けている生徒を対象に、高校入学時の支援金制度を創設しては。

答 現時点では考えていない。他自治体の動向等を注視し、支援のあり方を研究。

はやお 恭一 (千代田)



非喫煙者と喫煙者との共生

問 共生の取り組みとして、密閉型喫煙室の設置から喫煙トレーラー方式を採用した理由と設置台数、予算は。

答 喫煙場所の整備に取り組んでいるが、密閉型の設置が進まず方針を変更した。試行として1台約1,300万円を予定している。

東京2020への喫煙対策は

問 開催時は1日最大92万人の観光客が見込まれている。開催まで2年、喫煙所整備は間に合うのか。

答 喫煙場所100カ所が目標、公園等の禁煙化により厳しい状況。助成制度の周知拡充、喫煙トレーラー試行等、あらゆる方策を検討。

飯島 和子 (共産)



介護予防について

問 ①都のシルバーパス所有者は区の「風ぐるま」に無料で乗車できるように②介護予防に効果のある区の講座の継続を。

答 ①シルバーパスは都が条例により決定する。風ぐるまは、低所得者に配慮した料金としている②さまざまな活動に参加するきっかけづくりや、場の提供等を重点的に支援する。

サ高住の整備について

問 低所得者も入居可能な「サービス付き高齢者住宅」を生活圏内に整備すべき。

答 家賃補助や事業者への支援による低廉な家賃設定の仕組み等を検討する。

岩佐 りょう子 (紡民)



ドッグランについて

問 動物愛護、地域コミュニティ醸成等に資するドッグランを、区内の低未利用地等に設置してはどうか。

答 利用者やNPO、ボランティア団体等が中心となって運営する方式で検討。

寄付文化の醸成について

問 ふるさと納税で寄付が身近となった。財源確保、参画及び共助の手法として寄付文化の醸成に取り組むべき。

答 寄付行為を資金集めだけでなく、事業への参画の機会にするという観点は発展性のある考えと認識。寄付の集め方、目的や成果等も含め多様な手法を検討。



平成30年第1回定例区議会

定例区議会活動報告

Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案22件(条例17件、契約3件、規約1件、指定管理者1件)、議員提出議案1件(条例1件)を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。なお、審議結果は12ページをご覧ください。



企画総務委員会

議員提出議案1件を含む議案10件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。「職員の退職管理に関する条例の一部を改正する条例」は、職員等の再就職に関し、より一層の公務の公正性を確保するため、再就職のあっせんや求職活動の規制に関する手続を定めるものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、職員等の再就職について、これまでの事後規制に加え事前規制を導入する等の見直しにより、職員等の再就職のあっせんや求職活動を規制し、再就職手続を厳格化するものであること。

他の職員に関する民間団体への再就職のあっせんや、利害関係のある民間団体に対する管理監督者自身の求職活動を原則禁止とすること。ただし、外部の有識者で構成する退職管理委員会による審査を経て、任命権者が承認したときはその禁止を解除すること。

これらの制度の硬直化を防止し、任命権者がしっかり判断を行えるよう運用していきたいと区が考えていること等が明らかになりました。

次に、「職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例」は、行政系人事制度の改正による職層間のバランス及び官民の均衡を図るため、退職手当の基本額及び調整額の支給率を見直すほか、懲戒免職処分等により退職した場合の手当の支給について、規定を改めるものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、懲戒免職等の処分を受けて退職することとなった職員や、地方公務員法の規定による失職又はこれに準ずる退職をした者は、退職手当が原則不支給であるが、事案に応じて一部支給制限とする判断を任命権者がしていくこと等が明らかになりました。

次に、「千代田区都市公園条例の一部を改正する条例」は、法令の一部改正に伴い、一つの都市公園の敷地面積のうち、その都市公園内の運動施設が占める面積の割合の上限を条例で定めるものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、都市公園内で運動施設が占める面積の割合の上限について、国の示した基準を考慮して本条例で100分の50と定めることとするが、今後区内で新たな施設が整備されることとなる場合でもこの割合で対応できると区が考えていること等が明らかになりました。

地域保健福祉委員会

議案12件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。「千代田区文化芸術基本条例の一部を改正する条例」は、文化芸術振興基本法の一部改正に伴い、条例中において引用する法律名称を改めるほか、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、法改正における「文化芸術推進基本計画の努力義務」に関しては、区の現行の文化芸術基本条例の中で、文化芸術推進のための計画を作成することがすでに明記されていること。文化芸術推進のための施策として、第3次文化芸術プランにおいて食文化の伝承や文化芸術を創造する人材の発掘・育成がすでに明記されていること。また、文化芸術推進会議については、文化芸術プラン推進委員会が設置済みであること等、法改正に伴うものがすでに盛り込まれていることから、今回の法改正への対応は、条文に引用する法律の名称のほか、一部文言等の規定整備のみで対応できること等が明らかになりました。

次に、「千代田区介護保険条例の一部を改正する条例」は、第7期介護保険事業計画の策定に伴い、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の介護保険料を定めるとともに、介護保険法の一部改正に伴い、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、第7期の計画に伴う保険料率の改正において、基準額は、第6期の月額5,700円・年額68,400円が、改正後は月額5,300円・年額63,600円と、月額で400円の引き下げを3年間行うことになること。

また、介護保険法施行規則の改正に伴い、保険料の15段階区分のうち第7段階から第9段階の所得基準が見直され、所得上限額について、第7段階は190万円未満から200万円未満に、第8段階は290万円から300万円に、また、第9段階は下限が290万円以上が300万円以上に変更となること等が明らかになりました。



平成30年第1回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会



子育て文教委員会

議案1件の審査経過は以下のとおりです。

「**幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**」は、平成29年の特別区人事委員会勧告に基づき、扶養手当の額を改めるものです。本年4月1日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、特別区内の民間企業において配偶者に係る手当を支給する事業所の割合は減少傾向にあること、今後見直す予定、見直すことについて検討中とする事業所は手当を支給する事業所の2割に達していることが明らかになりました。

また、特別区において配偶者を扶養親族とする職員の割合は、国と同様に減少傾向にあることが明らかになりました。

次に、報告案件6件のうち主な内容は以下のとおりです。

「**夏季における子どもの遊び場事業の見直しについて**」は、夏季における東京の気温高温化により、熱中症による救急搬送人員が増加していることから①ふじみこどもひろばを除き、暑さ指数に準拠した遊び場事業の中止②旧永田町小学校の通年の開場時間変更③ふじみこどもひろばの8月の開場時間変更について報告がありました。その中で次のことが明らかになりました①熱中症予防運動指針における暑さ指数(熱中症を予防することを目的とした指数です。単位は気温と同じ摂氏度で示しますが、その値は気温とは異なります。)28℃以上で中止すべきとされる激しい運動とは、ダッシュを繰り返すランニングや持久走等、継続的・反復的に熱の発生が大きい運動を想定しているため、遊び場事業で実施しているボール遊び等は激しい運動までには至らないと判断し、暑さ指数31℃以上で中止とすること②事業全体の諸条件等を総合的に勘案したうえで旧永田町小学校は開場時間の変更が、より熱中症のリスク管理として有効であると判断したこと③ふじみこどもひろばは8月の開場時間が午前9時～10時、午後4時～5時と短くなることから、利用状況等をしっかり注視して引き続き検証していくこと。

「**平成30年4月認可保育園等入園審査状況について**」は、平成30年4月2次締切までの入園申請に基づく3月13日現在の審査結果について報告がありました。その中で、他区では、新規開設する保育園で4・5歳児クラスが埋まらない場合に、そのスペースを活用して0～2歳児を受け入れている事例があるため、その状況を確認することが明らかになりました。

その他「**軽井沢少年自然の家の利活用検討状況について**」「**千代田区障害福祉プランについて**」「**平成30年度学童クラブ学年別入会決定状況について**」「**お茶の水小学校整備協議会議事のまとめについて**」の報告がありました。

特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

東京2020大会に向けた推進プロジェクトの項目から機運醸成事業補助金の拡充、障害者スポーツ体験会の実施、開催2年前となる7月24日にカウントダウン日めくりモニター設置、フリーWi-Fi環境の整備、公衆・公園トイレの一斉リニューアルにあたっての整備計画等について報告がありました。その他、区民体育大会での五輪関連イベントについて、区内会場で行われる柔道・空手・ウェイトリフティング等を活用すべきだと要望しました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

今後の委員会運営の参考とするために他の区議会における常任委員会や予算、決算特別委員会への区長等特別職の出席状況や委員会の進行ルール等の調査報告が、区議会事務局よりありました。また、他の議会で本会議等のインターネット中継時の聴覚障害者への対応として導入されている「文字配信システム」を調査し、今後、当区議会でも同様のシステムを導入する方向で確認されました。

福祉施設整備特別委員会

旧箱根千代田荘は、宿泊施設としてよりよい提案を受けられるよう、運営の自由度を上げた公募が行われるとの報告がされ、「われらの千代田荘」となる運営を目指すことが確認されました。また、軽井沢少年自然の家の利活用は、教育現場の意見も聞き、引き続き検討を行っていく必要があるとの論議がありました。

さらに、入所施設を備えた障害者施設の整備検討のための予算を計上したとの報告については、スピード感をもって進めるべきとの意見がありました。

都市基盤整備特別委員会

区営四番町アパートの建て替えに関する陳情については、審査を継続することとしました。次に、(仮称)四番町公共施設については、1棟への建て替えにより一体的に整備することが望ましいとの意見が委員会の中で多数となり、この方向でさらによりよい施設となるよう検討していくこととしました。さらに、区から外神田一丁目地区のまちづくりについて等の報告がありました。



平成30年度 予算審査から

平成30年度当初予算4議案及び平成29年度補正予算1議案は、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、審査しました。委員会では、まず補正予算1議案を審査し、賛成全員で可決しました。当初予算は、概要説明を受けたのち、企画総務、地域保健福祉、子育て文教の3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査を行いました。分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え採決に入ったところ、当初予算4議案はいずれも賛成多数で可決しました。

〈当初予算に対する討論〉 【反対の意見】

第1の理由は、街路樹行政や麴町仮住宅建設問題での市民参画が不十分な点。第2の理由は、四番町公共施設計画での100億円もの税金がつぎこまれ、税金の使い方に疑問がある点。第3の理由は、九段南一丁目の土地を大手銀行から無償貸与される経緯が不透明で疑念を感じるにより一般会計予算に反対する。(牛尾)

千代田区政は、極めて企業により過ぎる状況にあり、危機感を感じる。議会が知りうる以前に対外的な話は水面下で進み、議会が声をあげる時には物事が確定している。九段南一丁目や日テレの土地借り受けも不透明であり、強い不信感を抱き、区政運営のブラックボックス化が深化していることなどからすべての会計予算に反対する。(小枝)

【賛成の意見】

新年度予算は、「区民生活を支える事業を効果的に力強く進める予算」として、「私立保育所等整備補助」「子ども版共育ビジョンの作成」「障害者への合理的配慮の推進」などが評価できる。国保会計も一般会計からの法定外繰入は評価できる。今後も、予算執行にあたり区民要望を丁寧に受け止めて執行することを求め、各会計予算に賛成する。(米田)

レスパイト事業や相談事業、グループホームの設置、介護保険料の区民負担の引き下げなど子どもだけでなく高齢者や障がい者に寄り添った予算編成は評価できる。一方、民泊に関して、関連部署間の連携が不明確な点は残念である。各部署が事業執行の中で、区民の安心安全を図れるよう努力することを求め、各会計予算に賛成する。(岩佐)

今年から始まる民泊サービスに区民は不安を抱き、今後は区の厳しい規制を求めたい。四番町や日テレ問題等の工事の詳細が判明し、区民の反対の声を聞くことが多々ある。毎回

同様の指摘となるが、区民や議会に説明責任を果たし、迅速かつ円滑な実施に向けて一層の努力を期待し、各会計予算に賛成する。(岩田)

質疑を通して、29年度予算附帯決議項目について、意思形成が不明確で決定までの説明責任が果たされていない点で反省の答弁があった。外濠公園総合グラウンド整備では天然芝の養生期間、人工芝の利用者への影響等を調査したうえで設計を行うことが明らかになった。来年度は当たり前のことを当たり前にする行政を切望し、各会計予算に賛成する。(はやお)

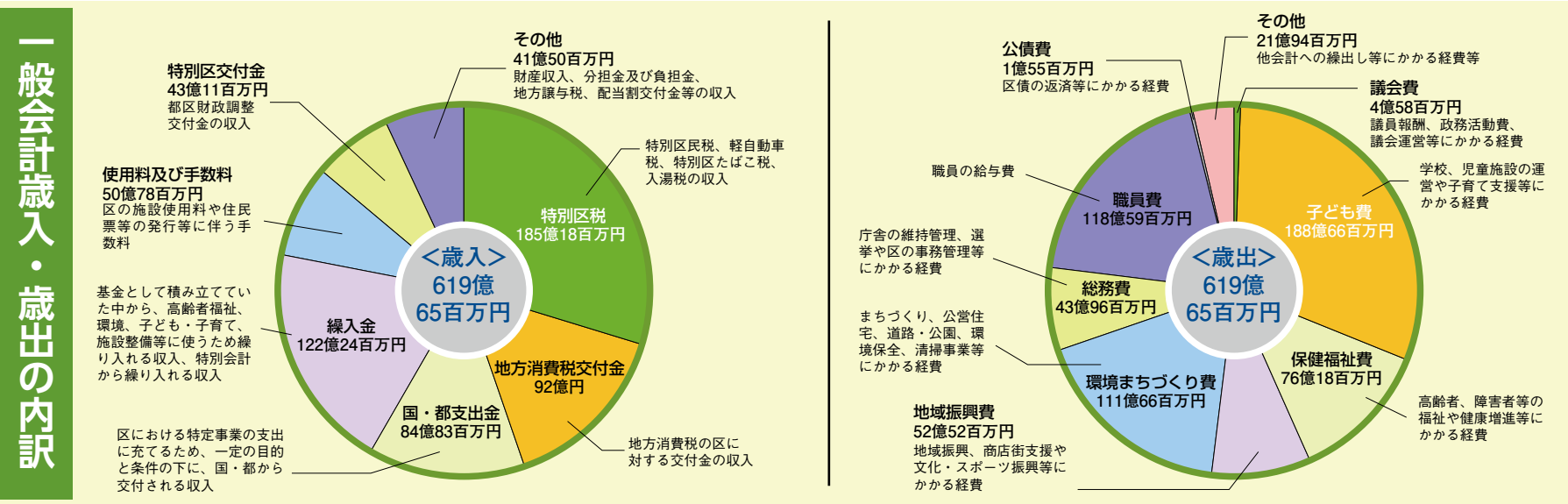
過去最大規模の予算だが、一時的な投資的経費や特異な事情による支出が多く含まれ、例年規模の予算編成と判断する。箱根千代田荘の活用や外濠公園総合グラウンド整備、違法民泊の取締り等に予算計上・拡充された点を評価する。審議の中で指摘されたことを執行機関は重く受け止め、適切に対処することを強く求め、各会計予算に賛成する。(内田)



各会計予算の規模

(単位：百万円)

会 計 名	平成30年度	平成29年度	増 (△) 減額	増 (△) 減率
一 般 会 計	61,965	54,599	7,365	13.5%
国民健康保険事業会計	5,442	6,091	△ 649	△ 10.7%
介護保険特別会計	4,451	4,538	△ 88	△ 1.9%
後期高齢者医療特別会計	1,656	1,587	68	4.3%
全 会 計 合 計	73,513	66,816	6,697	10.0%





今定例区議会で可決した意見書(要旨)

国民健康保険制度の都道府県単位化における意見書

国民健康保険制度は、平成30年4月から財政単位を広域化して新たに都道府県をその責任主体としてスタートします。今後は、都道府県と区市町村は保険者として共同し、それぞれの役割と責任を果たしていくこととなります。心配されることは、都道府県が財政運営の責任主体となっても、給付費に対する国庫負担や都道府県負担の割合は現行制度と基本的には変わらないこと、また区市町村で行っている法定外繰入は解消すべきものとされていることです。今、国民健康保険制度の改革に必要なことは、低所得者が多く加入する公的医療保険でありながら保険料が高くならざるをえないという制度の構造を国の責任において解決することです。

よって、千代田区議会は、国民健康保険の都道府県単位化において、制度の安定的かつ持続的な運営のため下記事項の実施を強く求めます。

記

- 1 国民健康保険が安定的かつ持続的な運営ができるよう、都道府県と区市町村の適切な役割分担の下で都道府県単位化を推進するとともに、あらゆる手段を講じて国保財政基盤の強化を図り、国の責任において実効ある措置を講じること。特に、低所得者層に対する負担軽減策を拡充・強化すること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣



本会議における討論(要旨)

今定例区議会では次の3件の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 千代田区住宅宿泊事業の実施に関する条例

【反対の意見】

区民世論調査によれば、区民の7割はホームステイ型の民泊以外は認めておらず、管理者不在の駆けつけ型への不安は大きい。区民は家主居住型を除くと可能な限り厳しい制限を求めているが、本条例案はその思いに十分に答えていない。また、民泊開始の周知が、周辺10メートル以内の住民等に対するものと事業開始日の前日掲示のため、地域が知らない間に民泊が開業されるおそれがあり、本条例案に反対する。(小枝)

【賛成の意見】

違法で行われている民泊は、区民から多くの苦情があり、犯罪の温床となる危険性もある。まずは、違法民泊を排除し、良質な民泊を誘導すべき。本条例案は、国の法律との整合性を図りながら、管理者不在で駆けつけられない民泊には他区にない厳しい規制を行う。現時点で考えられる限りの対応を規定する条例案になっており、本条例案に賛成する。(大坂)

本条例案は、住宅宿泊事業法を区の実情に合わせて施行するために提案されたものである。地域や期間による一律制限が難しい中、文教地区や保育園周辺の制限に加え、広さや運営方法についての規定もあり、規制の必要性和合理性の調和が図られている。条例だけでなく、規則・要綱も含めて継続的に見直しを行い、常に警察や消防、議会と連携して運用することを求め、本条例案に賛成する。(岩佐)

2. 議案第12号 千代田区住宅宿泊事業の実施に関する条例に対する修正案

【反対の意見】

グローバル社会となり、オリンピック・パラリンピックを控えて国際交流を進めることが求められている。海外の方と生活を共にし、国際理解を深めていくホームステイ型の民泊は「良質な民泊」であり、国際交流に資する。修正案ではホームステイ型でも週末の2泊のみで、ある程度長期にわたって海外の方と生活を共にする国際交流ができず、グローバルな人材育成ができない。よって修正案に反対する。(山田)

【賛成の意見】

修正案に賛成する第1の理由は、区民世論調査で7割が管理者不在の民泊は認めるべきでないと回答しており、セキュリティや緊急時対応による不安もある。区提案の条例ではそうした不安が払しょくされないため。第2は、近隣住民の理解を求めるためにも、民泊開始前に事業者が住民と顔の見える関係性を築き、周辺説明を十分に行う丁寧な対応が必要。以上により、本修正案に賛成する。(牛尾)

3. 千代田区居住安定支援家賃助成条例

【賛成の意見】

区は、公営住宅供給を放棄し、公営住宅の補完的機能であった家賃助成制度も後退させている。居住の安定を目的とした「居住安定支援家賃制度」は利用できる所得基準を引き下げ、助成期間も5年に縮小されている。本条例は家賃補助の助成期間の定めをなくし、所得制限を緩和することで、住まいの安定と、区民の「住み慣れた地域社会に住み続ける権利」を保証し、人間として尊重される地域社会づくりに寄与する。以上により本条例に賛成する。(牛尾)



■ 日程や議案等は、区議会ホームページをご覧ください

○区議会ホームページでは、議会日程や会議の結果、区議会だより等、さまざまな情報を掲載しています。
詳しくは、下記URLをご覧ください。

【URL】 <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

○議事録等の検索方法

速報版：委員会・本会議とも会議終了後2～4週間で掲載します。

トップページにある3カ所の**緑色の○部分**、いずれかをクリックしてください。(ただし、速報版は未定稿ですので、後日修正する可能性があります。)

議事録：委員会は会議終了後1カ月程度、本会議は会議終了後3～6カ月で掲載します。

トップページにある2カ所の**赤色の○部分**、いずれかをクリックしてください。



■ 所属会派と役職の変更

1月23日付で、所属会派と役職の変更がありましたので、お知らせいたします。

○所属会派の変更

秋谷こうき 「民進・クリーン千代田」 → 「千代田至誠会」

○役職の変更等

民進・クリーン千代田

(旧) 経理責任者 秋谷こうき

→ (新) 幹事長 経理責任者 岩田かずひと

千代田至誠会

(幹事長 経理責任者) 秋谷こうき

■ 区議会だより編集委員会の構成

委員長	小林 やすお(自民)
副委員長	河合 良郎(千代田)
委員	秋谷 こうき(至誠会)
	岩佐 りょう子(紡民)
	米田 かずや(公明)
	大坂 隆洋(自民)
	池田 とものり(自民)
	牛尾 耕二郎(共産)
	小枝 すみ子(声)

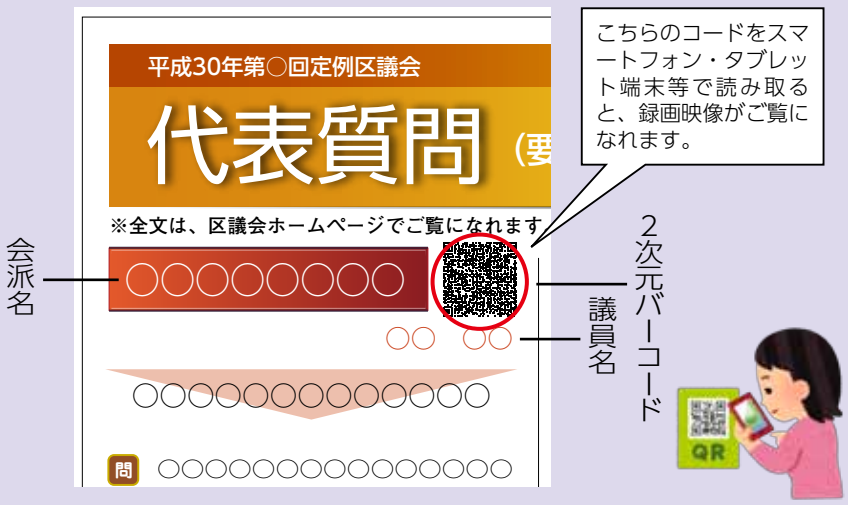


■ 2次元バーコードから代表・一般質問の録画映像をご覧ください

代表質問・一般質問のページ (p.2～p.5) に2次元バーコードを表示しています。

スマートフォン・タブレット端末等で読み取ると、各質問者のインターネット中継(録画映像)をご覧ください(インターネットに接続するため、通信料がかかります)。

※コードを読み取るには、お使いのスマートフォン等のコード読み取り用アプリ等をご利用ください。



大妻女子大学前 源平枝垂



東京マラソン

委員会で取り扱った陳情（平成29年12月26日～平成30年4月5日）※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳 情 名（受付順に掲載）	送付委員会 （ ）は参考送付	審査状況 （平成30年4月5日現在）
神田警察通りⅠ期工事におけるプラタナス街路樹の保存を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
市町村民税・都民税特別徴収税額の決定・変更通知書への個人番号記載中止を求める陳情	（地域保健福祉委員会）	審査終了
明大通り・街路樹の保存に関し拡大協議会開催を求め、加えて道路整備方針に関する陳情	企画総務委員会	継続審査
現下検討中の道路整備方針に関する陳情	（企画総務委員会）	継続審査
江戸遊「アクアビクス教室」の継続を求める陳情	地域保健福祉委員会	審査終了
たばこ対策についての要望書（2件）	地域保健福祉委員会	審査終了
千代田区住宅宿泊事業の実施に関する条例についての陳情	（地域保健福祉委員会）	審査終了
区営四番町アパートの建替えに関する陳情	都市基盤整備特別委員会	継続審査
「箱根千代田荘」の再開を求める陳情	福祉施設整備特別委員会	審査終了

12月～2月の主な活動

月／日	日 程	月／日	日 程
12／25	議会運営委員会	1／26	都市基盤整備特別委員会
	企画総務委員会	2／ 6	企画総務委員会
	地域保健福祉委員会		地域保健福祉委員会・国内行政調査 【区立神田橋公園・自立支援センター新宿寮】
	子育て文教委員会		
1／16	政務活動費交付額等審査会	8	子育て文教委員会
23	福祉施設整備特別委員会・国内行政調査【渋谷区障害者福祉センターはあとびあ原宿・障害者就労継続支援施設 Ten tone】	13	企画総務委員会
25	議会運営委員会	14	議会運営委員会
	企画総務委員会		〈平成30年第1回千代田区議会定例会告示日〉
	地域保健福祉委員会	16	都市基盤整備特別委員会
	子育て文教委員会	20	議会運営委員会

平成30年第1回定例区議会 会期日程〈会期2/21～3/22までの30日間〉

月／日	本会議・委員会関係日程	月／日	本会議・委員会関係日程
2／21	議会運営委員会	3／ 8	議会のあり方に関する調査特別委員会
	本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）		都市基盤整備特別委員会
22	議会運営委員会	9	地域保健福祉委員会
28	議会運営委員会		オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
	本会議（代表質問・一般質問）		福祉施設整備特別委員会
3／ 1	議会運営委員会	12	議会運営委員会
	本会議（一般質問・議案の付託等）		本会議（議案の議決等）
	予算特別委員会	13	予算特別委員会（総括）
2	企画総務委員会	14	予算特別委員会（総括）
	地域保健福祉委員会	15	企画総務委員会
	子育て文教委員会		地域保健福祉委員会
5	議会運営委員会	20	子育て文教委員会
	本会議（議案の議決等）		議会運営委員会
	地域保健福祉委員会	22	福祉施設整備特別委員会
	予算特別委員会		議会運営委員会
6	予算特別委員会（分科会）	22	本会議（議案の議決等）
7	予算特別委員会（分科会）		

議案の審議結果等（平成30年第1回定例区議会）															可…可決/否…否決/採…採択/不…不採択 ○…賛成/×…反対/欠…欠席/退…退席/除…除斥																			
議 員 名 等 ※議員名の下段は、会派名略称		議 案 名 等	出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日	
								岩 田 かず ひと 民 進 ク	秋 谷 こう き 至 誠 会	岩 佐 り よう 子 紡 民	寺 沢 文 子 紡 民	大 串 ひろ やす 公 明	米 田 かず や 公 明	大 坂 隆 洋 自 民	池 田 とも のり 自 民	山 田 丈 夫 自 民	飯 島 和 子 共 産	牛 尾 耕 二 郎 共 産	木 村 正 明 共 産	小 枝 すみ 子 声	松 本 佳 子 自 民	小 林 た か や 自 民	永 田 壮 一 自 民	内 田 直 彦 自 民	嶋 崎 秀 行 千 代 田	た か ざ わ 秀 一 千 代 田	はや お 恭 一 千 代 田	林 則 行 千 代 田	河 合 良 郎 千 代 田	戸 張 孝 次 郎 自 民	小 林 やす お 自 民	桜 井 た だ し 自 民		
議 提 出 議 案		千代田区居住安定支援家賃助成条例	25	24	4	20	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	議 決 は 採 決 に 加 わ り ま せ ん	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3/22		
		議案第12号 千代田区住宅宿泊事業の実施に関する条例に対する修正案	25	24	10	14	否	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	3/12	
		拙速な改憲発議を行わないよう求める意見書	25	24	9	15	否	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3/22	
		国民健康保険制度の都道府県単位化における意見書	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
区 長 提 出 議 案		平成29年度千代田区一般会計補正予算第3号	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 決 は 採 決 に 加 わ り ま せ ん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/5	
		平成30年度千代田区一般会計予算	25	24	20	4	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		平成30年度千代田区国民健康保険事業会計予算	25	24	23	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		平成30年度千代田区介護保険特別会計予算	25	24	23	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		平成30年度千代田区後期高齢者医療特別会計予算	25	24	20	4	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		千代田区文化芸術基本条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		職員の退職管理に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		千代田区手数料条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		千代田区障害者福祉手当条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		千代田区旅館業法施行条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22	
		千代田区住宅宿泊事業の実施に関する条例	25	24	14	10	可	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×		×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3/12
		千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区介護保険条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスに関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区都市公園条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		区立九段小学校・幼稚園の棚等の購入について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		区立九段小学校・幼稚園の机・椅子等の購入について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		お茶の水橋補修補強工事委託協定の締結について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		岩本町ほほえみプラザの指定管理者の指定について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		自転車通行環境整備工事「神田警察通り」請負契約の一部変更について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/12
		歩道拡幅工事「明大通りⅠ期」請負契約の一部変更について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/12
		千代田区教育委員会委員の任命の同意について（2件）	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区監査委員の選任の同意について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
		千代田区行政監察員の選任の同意について（2件）	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/22
報 告	国指定史跡常盤橋門跡常磐橋復旧工事Ⅱ期請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										3/22							

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名

※ 会派名 自由民主党議員団(自民)／自由民主党 新しい千代田(千代田)／日本共産党区議団(共産)／千代田を紡ぐ会・民進(紡民)／公明党議員団(公明)／ちよだの声(声)／民進・クリーン千代田(民進ク)／千代田至誠会(至誠会)